

黒田庄まちづくり協議会より

第145号6月

去る5月29日(火)午後7時30分より黒っこプラザ大ホールにおいて、黒田庄まちづくり協議会の総会を開催しました。

委員117名のうち、本人出席67名・委任出席30名の合計97名の出席があり、平成29年度事業報告・会計決算報告、会長及び副会長の選出、組織等、平成30年度事業計画(案)・会計予算(案)について審議し、全議案が承認されました。

会長及び副会長の選出では、前会長の長谷川俊雄氏(喜多)の退任に伴い、新会長に藤原悟氏(小苗)が選出されました。副会長に藤本恭造氏(区長会会長 津万井)、村上隆雄氏(区長会副会長 石原)、杉原慶一氏(区長会副会長 喜多)が選出されました。



総会の様子

平成30年度事業計画では、まちづくりのための目標を“千年の風土を未来につなげるNEW黒田庄づくり”とし、参画する団体・人々が話し合い、自主的・主体的に計画を実践すると共に、様々な課題解決を目指し、各事業部会や協議会全体で次のような事業に取り組みます。

地域交流部会

第41回にしわき市・黒田庄夏まつり、第8回黒田庄軽トラ市、各自治会の交流カフェづくり、生涯学習・スポーツの振興・人権学習の推進などに取り組みます。

くらし安心部会

福祉送迎車の運行、黒田庄地区防災訓練等、インドヨガ教室の継続事業に加え、子ども見守り活動などの課題事業に取り組みます。

観光・特産部会 (旧産業・観光部会)

特産品の開発・PR、秋谷公園遊歩道の景観づくり・遊歩道の活用、白山・妙見山等の登山マップの作成、黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化などに取り組みます。

広報部会

黒田庄つつしんの発行、まちづくりリーダーの育成、黒田庄の情報発信などに取り組みます。

その他事業

黒田庄まちづくり協議会に参画する団体等が事業を実施する場合に、その経費の一部を助成することにより、課題解決に取り組みやすい環境をつくります。また、西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館及び西脇市黒田庄交流拠点施設あつまっ亭の指定管理業務を行います。



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
平成30年6月15日発行



黒田庄地区の人口

(H30.6.1現在)

男 3,317

女 3,533

計 6,850

世帯数 2,635

人口前月比 (-2)

(2)

黒田庄こども園 ☆平成30年度 理事・監事・評議員の紹介☆

今年度の黒田庄こども園 理事・評議員・監事は、次の方々に構成されています。(敬称略)

理事長	藤本 恭造	
職務代理	伊藤 義信	
監 事	村上 明廣	池田 英利



住 所	氏 名	役 職 名	住 所	氏 名	役 職 名
津万井	藤 本 恭 造	理 事 長	石 原	村 上 隆 雄	評 議 員
喜 多	杉 原 慶 一	理 事	田 高	荻 野 庸 一	評 議 員
大 門	伊 藤 義 信	理 事	船 町	西 村 忠 行	評 議 員
津万井	石 井 正 樹	理 事	小 苗	津 瀬 秀 一	評 議 員
福 地	村 上 勝 則	理 事	黒 田	藤 原 政 之	評 議 員
岡	藤 原 武 司	評 議 員	前 坂	池 田 英 利	監 事
門 柳	藤 原 幸 一	評 議 員	住民代表 岡	村 上 明 廣	監 事
大 伏	藤 原 透	評 議 員	こ だ も 園	吉 田 和 弘	理 事
西 澤	飛 田 正 義	評 議 員			

黒田庄こども園理事・監事・評議員会は、「地域の子どもは、地域で育てる。」のもと、地元住民の方々の理解と協力を得て、子どもたちが安心して健やかに成長できるよう、区長会が中心となって運営されています。就学前の子どもたちの教育・保育について協議いただき、園の円滑な運営と心豊かな子どもたちの育成に寄与いただいております。

園児数は、0歳児が4名、1歳児が13名、2歳児が21名、3歳児が30名、4歳児が38名、5歳児が42名で合計148名であります。

黒田庄地区人権のまちづくり協議会より

5月18日(金)19時30分より、黒っこプラザにおきまして、定期総会を開催しました。各集落、学校園、PTA、各種団体より92名の方にご参加をいただき、役員、活動方針、活動計画、予算等について承認をいただきました。

〔役員〕	・会 長	宮崎 正則(船 町)	
	・副 会 長	藤井 清孝(喜 多)	吉田 和弘(大 門)
	・会 計	大久保修也(桜 小)	
	・会計監査	大崎 孝義(船 町)	森脇 雄二(小 苗)
〔顧問〕		藤本 恭造(津万井)	藤原 悟(小 苗)

総会行事終了後、啓発DVD「カラフル」を視聴しました。「家庭の中の人権」をテーマにした内容で、子どもの就職や結婚、性的少数者(LGBT)の方との出会いなど自分と重ねながら考えることができました。

ご案内 第1回黒田庄地区人権のまちづくり研修会について

○日 時 平成30年6月26日(火) 19時30分～ 黒っこプラザ(2階大ホール)

○内 容 聴覚障がいのある方、手話サークルの方との交流会

「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など手話であいさつできるようになるとコミュニケーションの輪がどんどん広がっていきます。



虹の会 工房だより

就労継続支援B型事業所
(虹の会工房)
生活介護事業所(げんき)

平成30年度通常総会開催



NPO 法人虹の会工房多機能型事業所の平成30年度通常総会が5月29日に開催され、下記のような事業活動等が承認されました。

就労継続支援B型事業では、障害者総合支援法に基づく通所の授産施設として、利用者さんに適応した作業を提供すると共に、自主活動に必要な生活支援、社会支援を行いました。利用者さんは6名(男子1名、女子5名)で、各種内職、お菓子の製造販売、福祉センターエントランスで毎週木曜日に「喫茶レインボー」を開店、更に毎週金曜日に福祉センター内のトイレや廊下の清掃を行いました。全ての作業において利用者さんの適性に合った配慮を施し、効率化や個々の技能アップを図ってきました。

生活介護事業では、利用者さん10名(男子4名、女子6名)が、住み慣れた地域や事業所で心穏やかに明るく伸びやかに生活できるよう、個性を大切に身体能力や生活能力の維持・向上を図り運動や創作等の活動の場を提供してきました。活動を通して利用者さんのコミュニケーションが向上しました。

平成30年度においても、事業の充実と障がいのある方々とそのご家族の生活が、一層豊かになるよう努めます。また、利用者さんの社会体験や余暇支援の充実を図り、様々なニーズに対応できる体制を作ります。更に、今後の事業展開を見据えた人材育成や研修に努め、利用者さんが安全で安心できる事業所であるよう励みます。



第7回 養徳会まつり
5/27 今年もステージブースに参加しました。就労Bさんは樽太鼓で、生活介護さんは歌とハンドベルで多くの人前で演奏しました。晴天の下でいっぱい拍手をもらいとても嬉しかったです。



5/30 須磨水族園に行きました。雨天でイルカショーは見られませんでした。でも大きな魚や亀を見たり、食事をしたりして楽しかったです。



5/14 たこ焼き作りをしました。お家にも持って帰りました。「おいしい!」とってもらえました。



5/31 「NPO 法人すまいる」の【にこっと】さんに行きました。きれいな喫茶店でした。



(4)

黒田庄の巨木シリーズ(9) 喜多 天満宮のアベマキとアラカシ

喜多の天満宮の森でひときわ目立つのは、胸高幹周334cmのアベマキで、一段高い地盤の上に植わっています。落葉樹なので常緑樹の森を背景にして季節に合わせて見せてくれるコントラストが鮮やかです。もう一本の巨木は、入り口、正面に向かって右側の胸高幹周311cmのアラカシです。

これら二本は、江戸時代、延宝・元禄年間(1673年～1703年)に境内地が整備されたとき、既存木としてそのまま残されたもののように思えます。植栽位置と幹の太さを見比べると、それ以外の樹木は境内地の整備が終わってから植えられたように思えますが、田園の中に常緑樹主体の社叢を構成しています。



アベマキ 胸高幹周334cm



アラカシ 胸高幹周311cm

西脇市消防団第7分団 実践操法大会開催される

去る5月27日(日)に黒田庄コミュニティ消防センター(田高)に於いて、西脇市消防団第7分団ポンプ操法大会(黒田庄地区大会)が開催されました。このポンプ操法大会は、消防団員の士気高揚と消防技術の向上を図るため開催されたもので、各出場団員は日夜練習に励み、その成果を十二分に発揮しました。小型動力ポンプの部では石原部が優勝し、準優勝は船町部、第3位は田高部でした。



小型動力ポンプの部



自動車ポンプの部(岡部のみ)

また、去る6月10日(日)に開催された西脇市消防団ポンプ操法大会に小型動力ポンプの部で石原部、自動車ポンプの部で岡部が出場しました。

結果は、小型動力ポンプの部では第2分団蒲江部、自動車ポンプの部では第4分団羽安部が優勝しました。また、優勝の部は来る7月8日(日)に開催される北播磨地区消防操法大会に出場します。

編集後記

先日、西脇市消防団第7分団のポンプ操法大会に来賓として出席しました。開会式終了後、先ず、自動車ポンプの部で岡部が出場しました。続いて、小型動力ポンプの部では、黒田部から始まり、最後は小苗部の出場で13部が競技を終えました。

私も消防団に25年間在籍し、何度もポンプ操法大会出場の経験があったので、各部どんな操法をするのか見ていました。各部とも日頃の練習の成果を発揮し、消防団員の士気高揚と消防技術の向上が図れたのではないかと考えています。

Y.I